

**【新規格付け】 東日本高速道路**

第3回社債 (発行登録債) : A A A

格付投資情報センター(R&amp;I)は上記の格付けを公表しました。

**【格付け理由】**

東日本高速道路は道路関係 4 公団民営化で発足した高速道路会社 6 社中の 1 社で、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構と締結した協定に基づき北海道、東北、関東を中心に東日本の広大な地域で高速道路の新設、改築、維持、修繕などを手掛けている。関連事業は道路休憩所など高速道路周辺で展開し、収入が安定した事業が主体。当面、関連事業の資産規模の拡大を想定していないこともあり、今のところリスクは限定的である。

格付け対象社債は高速道路建設資金を調達するために発行される。高速道路建設に係る借入金や社債等は、当初は同社の負債だが、機構に高速道路資産が帰属する際に、原則として弁済期日到来順にこれらの負債も引き継がれる。

R&I は道路建設に支障を来しても道路建設債務は機構(間接的には国)によって保護される可能性が極めて高いと判断している。このため、当該社債の元利払いの確実性は引き渡し前であっても機構の信用力(発行体格付け=A A A)に帰着すると判断し、機構と同じ格付けにしている。

なお、福田内閣は 5 月 13 日に道路特定財源を 2008 年の税制抜本改革時に廃止し、2009 年度から一般財源化するという方針を閣議決定した。格付け上、道路特定財源については、規模が大きく、一般財源に比べ柔軟な投入ができる可能性があることから、機構や高速道路会社の運営に支障が生じた場合に使う財源として評価に織り込んできた。道路特定財源が完全に一般財源化すれば、いざと言うときの財源として見込みにくくなる点は無視できない。今後の道路政策、財源政策を引き続き見極めていく方針だ。

**【格付け対象】**

発行者：東日本高速道路

|          |   |
|----------|---|
| 名 称      | 第 3 回社債 (一般担保付、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構重畳的債務引受条項付) |
| 発行額      | 200 億円  |
| 発行日      | 2008 年 9 月 18 日                                 |
| 償還日      | 2011 年 9 月 20 日                                 |
| 表面利率     | 1.10%   |
| 格付け      | A A A (新規)                                      |
| 債務引受の予定先 | 独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構                           |
| 担保       | 一般担保付   |
| 社債管理者    | みずほコーポレート銀行                                     |

●お問い合わせ先 **格付投資情報センター 格付本部** 〒103-0027 東京都中央区日本橋 1-4-1 日本橋一丁目ビルディングTEL.03-3276-3419 FAX.03-3276-3420 <http://www.r-i.co.jp> E-mail [infodept@r-i.co.jp](mailto:infodept@r-i.co.jp)

格付けは、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務(債券やローンなど)の支払いの確実性(信用力)に対するR&Iの意見を、一定の符号で投資家に投資情報として提供するものであり、債券やコマーシャルペーパーなどの売買・保有を推奨するものではありません。格付けは信頼すべき情報に基づいたR&Iの意見であり、その正確性及び完全性は必ずしも保証されてはいません。格付けは原則として発行者から対価を受領して実施したものです。

©Rating and Investment Information, Inc.